

不法投棄撲滅ねがい

NPO草津市内業者会

旧草津川沿いで一斉清掃

草津市を拠点とする建設関連事業者でつくる特定非営利活動法人「草津の安全・福祉・災害救援活動を推進する市内業者会」(略称「NPO法人草津市内業者会」・理事長＝松本浩治(佛津田工務店滋賀代表取締役))は10日、社会貢献の一環として不法投棄撲滅を目指し旧草津川沿いにおける道路一斉清掃活動を行った。

この活動は、市民から不法投棄について多くの苦情が草津市に寄せられている

現状を聞き、市民の視点に立つ業者会として不法投棄撲滅運動への取り組みを毎年行っているもの。

当日早朝、業者会から参加した多数の会員企業を前に、草津市から北中建設都市建設部長が、「草津川跡地の清掃に取り組んでいただき、大変ありがたく思います。市内業者会には災害時の応急復旧や道路パトロール、ボランティア活動をはじめ、先日の台風18号に関してもご協力により大き

な被害もなく、改めて感謝いたします」とあいさつ。続いて松本理事長が「我々の地道な活動は行政にも認めて頂いている。怪我のないよう作業をお願いしたい」と述べ、全員がゴミ袋とハサミを持ち作業に出発。

作業ルートは、集合場所の草津市総合体育館を出発し、旧草津川の左岸側沿いに浜街道から琵琶湖方面へ向かい、メロン街道に至るまでの区間。距離があるた

め参加者を3グループに分け、それぞれの担当区間で旧草津川の土手や斜面に投げ込まれている空き缶やごみ類を拾い集めた。袋が一杯になると業者会員が提供した3台の軽トラックに次々と積み込み、山積みのごみごみが集まった。ごみは分別場所へ集め、手分けして焼却ごみ、ペットボトル、空き缶、ビン、その他のごみに分別した。

NPO法人草津市内業者会は草津市を拠点に建設業にかかわる業者が



【写真・上から】作業前にあいさつする松本理事長(左)と北中建設部長(右から2人目)、ゴミを拾い集める会員ら、集められた大量のごみ

集まり平成20年6月に設立。市と災害時の応急復旧や重機提供、人的支援についての協定を結び、清掃活動(不法投棄撲滅運動)や市内一円の道路パトロール業務、教育環境向上への支援など幅広い活動に取り組んでいる。